

社会福祉法人 慈青会 令和2年度 事業報告書

はじめに（総括）

令和2年度は「新型コロナウイルス感染症苦慮の年」でありました。令和3年3月現在においても終息しておらず、益々状況が悪化している様に見受けられます。入居者の楽しみでもある外出や、外部の方々による出し物やイベントも中止しており、面会においては、謝絶に近い状態を今現在も継続中であります。ご家族様の心配もさることながら、入居者の方々は実に窮屈な生活を余儀なくされております。生活環境では細目な換気やアルコール消毒を実施しており、職員がウィルスを施設内への持ち込むことを防ぐために、出勤時および就労前に、検温と手洗い、健康チェックを実施しています。

施設内の事故につきましては、生命に関わる重大事故発生はありませんが、事故報告において所轄庁への報告すべき事例が7件発生する結果となりました。令和2年度の結果をふまえ、改善点は速やかに改善し、継続すべき点は職員全員が継続出来るように努めて行きたいと思っております。

また、当法人、施設におきましては、経営環境が年々厳しさを増している状況において、効率的な人事配置と費用の効率化に努めましたが、課題である収益と職員確保の両立には、今年度においても苦慮しました。このような状況下におきましても、入居者へのサービスがより一層向上すよう事業に取り組みましたので、次のとおりその概要を報告いたします。

1. 職員体制について

令和3年3月末時点の職員配置は次表の通りです。

	施設長	生活相談員	介護職員	看護職員	機能訓練指導員	介護支援専門員	栄養士	調理員	医師（嘱託）	その他	人数合計 ※換算数ではない
職員数	1	1 兼務有	16 (1) 兼務有	2 兼務有	1 兼務有	1 兼務有	1	3	1	3 (3)	30

※上段は実職員数、中段は（内パート職員数）、下段は他職との兼務の有無 有の場合「兼務有」と表記

2. 職員研修について

内部研修、外部研修は研修計画に沿って行いました。認知症介護や感染症等を再確認できたことで職員の意識の向上が見られ、ユニット会議を活用し職員全体で入居者様に楽しんで頂ける企画の提案と実施に取り組むように努め、毎月の飾りつけの更新、一人一人の希望に添った誕生日行事の提供、季節感のある取り組みなどの実施をしました。

また、各会議や各委員会等の職員が顔を合わす機会を定期的に確実に持って声を掛け合うことにより、ともに自己研鑽していく意識を育むことが出来ました。これを基に引き続き研修を充実させ専門性の習得を

行い、職員教育と入居者に対して質の高いサービス提供ができるように努めたいと思います。

3. 総務・会議について

年間計画に従い理事会（内部監事監査）、評議員会、運営推進会議、各種会議、委員会を開催しました。主な内容は以下のとおりです。

(1) 理事会・評議員会・評議員選任解任委員会開催日及び審議内容、審議結果事項

① 理事会

開催日	審議内容	審議結果
令和2年6月3日	第1号議案 平成31年度（令和1年度）事業報告及び付属明細書の承認について 第2号議案 平成31年度（令和1年度）計算書類及び付属明細書並びに財産目録の承認について 第3号議案 令和2年度資金収支予算書の補正の承認について 第4号議案 定時評議員会の招集について 報告事項 理事長の業務報告について	可決 可決 可決 可決 -
令和1年8月5日	第1号議案 令和2年度青森市地域密着型サービス事業者応募申請について 第2号議案 臨時評議員会の招集について	可決 可決
令和1年12月25日	第1号議案 就業規則変更（育児・介護休業規程）について 報告事項 令和2年4月から令和2年10月までの理事長の業務執行報告、財務・経営報告について	可決 -
令和3年3月31日	第1号議案 令和2年度資金収支補正予算について 第2号議案 令和3年度事業計画及び資金収支予算書について 第3号議案 新規事業について 第4号議案 評議員選任解任委員選任について 第5号議案 経理規程変更について 第6号議案 利益相反取引について	可決 可決 可決 可決 可決 可決

② 評議員会

開催日	審議内容	審議結果
令和1年6月28日	第1号議案 平成31年度（令和1年度）計算書類及び付属明細書並びに財産目録の承認について 報告事項 平成31年度（令和1年度）事業報告	可決 -
令和2年8月7日	第1号議案 令和2年度青森市地域密着型サービス事業者応募の承認について	可決

(2) 運営推進会議

令和2年度5月、7月、9月、11月、1月、3月と2ヶ月に1回、計5回開催する予定となっておりますが、新型コロナウイルス感染症の予防と拡大防止対策のため、会議は中止としました。

入居者の日常の様子や行事など「ささえ新聞」やホームページにて情報発信しております。

(3) 給食会議

毎月1回、会議を開催し、検食結果の振り返り、食中毒予防等について検討を重ねました。また行事食の検討や提供方法、食に関する嗜好調査結果の報告などを行いました。

(4) 各委員会

施設内のサービスの質の向上、施設内のマニュアルの作成および研修の計画等のために各種委員会活動を行いました。各委員会とは以下のとおりです。

① 身体拘束廃止委員会

身体拘束に対する理解の徹底を図る事によって、日常的に行われている行為の中で入居者に精神的及び身体的ストレスを掛けていないかの検証を行うことにより、身体拘束に対する意識を図り実践してきました。基本的には、自分が受けたい介護を入居者に出来るようにしていくことを心掛けました。身体拘束のとらえ方としても、入居者の自由を制限し、尊厳のある生活をはばむものと考え、入居者にとって安心した「生活の場」の提供を第一に考え、身体拘束ゼロに努めました。

② 事故発生防止委員会

事故を未然に防ぐことを常に意識・浸透させ、創意工夫をし、より質の高い介護に繋がるサービス提供を目標に、介護事故防止に努めました。

また、必要な体制を整備、職員間の連携、入居者の事故防止対応の日々検討により施設全体で介護事故防止に努めてきました。

③ 褥瘡対策委員会

褥瘡防止のため、圧迫床ずれ、皮膚に加わる無理な力が血行障害を起こし、組織が壊死して褥瘡となる事を考え、入居者の身体の状態や栄養、皮膚の状態を観察し褥瘡のリスクの検討を行い、個々の状況に応じた対策を行い褥瘡の予防に努めてきました。褥瘡のある方に対しても医師の診察や対応等を検証してモニタリングを実施しました。

④ 感染対策委員会

感染症予防のため、種々の感染症の理解と予防する知識やケア技術が必要なため、全職員向けに勉強会などの取り組みを行っています。また、今期は新型コロナ感染予防や感染拡大防止に努め、職員の健康管理、面会を制限する等の取り組みに力を入れました。

4. 行事（ささえ）について

港町地区ねぶた祭りは、新型コロナウイルス感染症のため中止となりました。また、納涼会、敬老会、誕生会、お便りの送付など年間計画通り行いましたが、コロナ感染予防のためご家族や地域の方々の参加はできませんでした。

5. 健康管理について

職員の定期健康診断、夜勤者の特殊業務従事者の健康診断、雇入時健康診断、給食職員の検便検査やインフルエンザ予防接種を行いました。

6. 安全管理について

消防設備点検（㈱青森ドライケミカル）、電気設備点検（東北電気保安協会）、受水槽の清掃及び点検、井戸水水質検査、レジオネラ菌検査、施設内大掃除、各種機器自主点検を年間計画に沿って行いました。

井戸水活用による融雪、空調設備の使用による電気料の節電や見直しに努めました。

7. 借入金の償還について

福祉医療機構（令和3年2月より）、青森銀行ともに元金および利息を予定通り支払いました。

8. その他

令和2年11月に、令和2年度青森市地域密着型サービス事業者の応募し、「認知症対応型共同生活介護」事業者に選定されました。施設開設予定地は、青森市合浦です。

以上

特別養護老人ホームささえ
令和2年度 事業報告書

1. 運営方針の目標（事業目標）の達成率について

入居稼働率は下記のとおり目標の98%を下回り、95%という結果になりました。医療機関への入院者数が多く、さらに入院期間が長くなり、入居稼働率が不安定な状況のためでした。空床期間を1か月以内にすることを目標とし、入居に繋げることを目指しましたが、コロナ感染症の影響もあり難しい状況でした。

(1) 年間の利用状況

利用者の状況（定員29名）

	延べ利用者数				平均 介護度	日数	利用率
	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計			
当年度	1,190	3,899	4,963	10,052	4.3	10,052	95%
前年度	1,447	3,397	5,293	10,137	4.4	10,137	96%

(2) 年度末の利用状況

① 入居者の年齢状況

	70歳 未満	70～ 74歳	75～ 79歳	80～ 84歳	85～ 89歳	90～ 94歳	95～ 99歳	100歳 以上	計	平均 年齢
男性	1	0	0	1	2	0	0	0	4	79.2
女性	2	1	3	3	5	9	2	0	25	85.5
総数	3	1	3	4	7	9	2	0	29	84.6
前年度	2	1	3	6	8	5	4	0	29	84.0

② 介護度状況及び入居前の居所

	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	平均 介護度	入居者の前住所地		
						港町地区	その他	計
男性	0	1	3	4	4.8	0	4	4
女性	3	13	9	25	4.2	0	25	25
総数	3	14	12	29	4.3	0	29	29
前年度	5	6	18	29	4.4	0	29	29

2. 具体的方策の実施について

① 運営体制を強化し、安定した経営基盤の構築

- ・コロナ感染症の影響により、待機者の状態把握の面談が困難になり、空床の期間が長くなってしまいました。また、退居者が出た場合の待機者へのコンタクトの遅れ、施設受け入れの判定に時間を要し、稼

働率減という結果となったと考えております。こういった点の改善を、速やかに行いたいと思います。

- ・費用の効率化のため、おむつなどの仕入れにおいては取扱い業者を吟味のうえ変更をし、水光熱費においては、削減のため職員一人一人に意識を持つよう働きかけました。

②利用者の生活の質の向上

- ・入居者の生活の質の向上のため様々な研修を行い、介護職員の技術、能力、資質の向上を図り、取り組んできましたが、未だ十分とは言えず、更なる研修の継続が必要と感じております。
- ・コロナ感染症の影響で、外出する機会や面会制限のためご家族に会う機会も減少したため、施設内で楽しんでいただけるよう取り組みました。
- ・身体拘束廃止委員会を定期的で開催し、拘束をしない介護の工夫を検討し実践することができ、その結果身体拘束は0件でした。
- ・事故報告、ヒヤリハットの検討会議により身体拘束をしない介護にも活かすことができました。

令和2年度 【事故報告 ヒヤリハット】

発生年月	報告形態	件数	事故内容
4月	事故報告	0件	—
	ヒヤリハット	3件	(転倒の危険があった、食事に異物混入の恐れがあった、冷凍庫の扉が閉まっていなかった)
5月	事故報告	3件	(異食行為、爪を切る際に皮膚を切り出血、トイレの手すりに額をぶつけ内出血)
	ヒヤリハット	0件	—
6月	事故報告	4件	(他利用者の食事を食べてしまった、服薬ミス、車いすから滑り落ち椅子に座ろうとして転倒)
	ヒヤリハット	0件	—
7月	事故報告	2件	(車いすから立ち上がり転倒、軟膏塗布間違え)
	ヒヤリハット	3件	(自力で部屋に戻り転倒の危険があった、他のおやつを食べようとしていた、自力でトイレに歩行し転倒の危険があった)
8月	事故報告	3件	(服薬ミス、献立の確認ミスで別なものを調理した、下肢に紫斑)
	ヒヤリハット	2件	(観葉植物の木くずを取ろうとした、車いすから転落、転倒の危険があった)
9月	事故報告	2件	(薬が床に落ちていた、ご飯とお粥が炊かれていなかった)
	ヒヤリハット	3件	(立ち上がりが頻回で転倒の危険があった、自力で歩行し転倒の危険があった、薬のセットミスの危険があった)
10月	事故報告	6件	(義歯と勘違いしティッシュを口に入れていた、トイレで床に座り込んでいた、爪切り時出血、物を取ろうとして転落、他利用者から食事形態が違うものをもらい食べていた、足首表皮剥離)
	ヒヤリハット	8件	(一人で歩いて転倒の危険があった7回、ベットの手すり付け忘れ)

11月	事故報告	3件	(足首に表皮剥離、車いすからの滑り落ち、配膳車破損)
	ヒヤリハット	1件	(自力で歩こうとして転倒の危険があった)
12月	事故報告	1件	(車いすから足が落ちてしまい表皮剥離)
	ヒヤリハット	1件	(服薬ミスの危険があった)
1月	事故報告	4件	(バランスを崩し転倒、車いすの一部を破損、トイレ内で転倒、異食行為があった)
	ヒヤリハット	1件	(転倒の危険があった)
2月	事故報告	0件	—
	ヒヤリハット	3件	(転倒の危険があった、風除室を開け玄関にいた、顔に歯磨き粉を塗ったと思われる)
3月	事故報告	0件	—
	ヒヤリハット	0件	—

③情報共有の徹底

- ・職員一人ひとりが、入居者の体と心の小さな変化に気づき、そのときに合ったケアができるように報告・連絡・相談し、統一したケアに努めました。
- ・リーダー会議、ユニット会議の実施や外部・内部研修を行うことにより、情報の共有への取り組みを進めてきました。
- ・申し送りやカンファレンスを密に行い、入居者の情報の共有や状態把握に努め、支援にあたりました。また、時より職員の知識や技術の差があり、統一した支援ができていないことがありました。各ユニットにおいて、お互いに確認し習得していくことが必要だと考えており次年度の課題となりました。

3. 援助内容について

① 食事

- ・食事の環境を整え、常に清潔を意識し、食事前後の手洗いや手指消毒を入居者に励行し、食中毒予防に努めました。
- ・咀嚼、嚥下困難等、食事に制約があるようでも出来る限り経口摂取ができるよう支援しました。
- ・検食結果や嗜好調査をもとに入居者の嗜好を考慮した食事の提供に努めました。
- ・食事をおいしく食べられよう個々にあった口腔ケアの実施に取り組みました。

○食事の提供状況（人）

	普通	刻み	ミキサー	流動食他	計
当年度末時点	2	15	8	4	29
前年度末時点	4	9	7	8	28

② 排泄

- ・個々の身体機能に応じて、できるだけトイレの使用を意識したケアを実践しました。
- ・排泄記録をつけ、排便コントロールや排尿状況の把握に努めました。

- ・排泄に関するアセスメントは健康管理上重要であり、変化があった場合は適切に職員間で情報共有するように努めました。

③ 入浴

- ・入居者の尊厳を大切にし、入浴前から入浴後まで同じ職員がかかわる形での入浴の実施に努めました。
- ・着替えや脱衣の際は、入居者の尊厳やプライバシーに配慮し、他の入居者に見えないように支援を行いました。
- ・入浴支援中は、声掛けをして入居者の意向等を適宜確認していきました。

4. 医務について

① 健康管理

- ・配置医師、看護職員と介護職員等との間で情報の交換や共有を図り、疾患の早期発見と早期受診につなげました。口腔ケアは、訪問歯科の協力を得て、毎週1回受診する機会を提供しました。
- ・各ユニット職員と情報を共有し、急変時には速やかに主治医に報告し指示を仰ぎ、救急搬送や適切な対応を実施してきました。
- ・異常の早期発見のため、毎年1回、心不全や看取り、ワーファリン服用の方には毎月または2か月に1回の血液検査・定期健診を実施しました。

② 看取りケア

- ・施設職員に戸惑いもありましたが、今年度は6名の方をお看取りしました。
- ・入居者とご家族と細目^{こまめ}にコミュニケーションを取り、現在の体調面・精神面の状態を共有してきました。このように改めてお話を聞くことにより、入居時にお聞きできなかったお話を聞くことができ、お話を重ねるにつれ、ご家族との信頼関係も深まったように思います。

③ 感染症対策

- ・感染症を防ぐための衛生管理にも留意しました。職員、入居者に対してのインフルエンザの予防接種を実施し、まん延防止に努めました。
- ・新型コロナ感染症に対しての予防や拡大を防ぐために、職員の体調管理や面会制限等の対策を実施し、入居者や職員の健康管理に努めました。
- ・新型コロナ感染症に関しては特に留意し、感染予防のための研修会を密に行いました。

5. 機能訓練について

① 実施訓練

- ・車いすの方について共同生活室における椅子への移乗等を行いました。
- ・日常生活において個々に合わせた、生活リハビリを実施しました。

② 管理

- ・入居者ひとり一人の状態を把握し、危険のないよう事故防止に努めながら実施しました。

③ 機能訓練計画作成

- ・機能訓練計画書を作成し、個々の機能にあったリハビリを実施しました。

6. 給食について

① 健康維持

- ・配置医師、看護職員、介護職員、栄養士と協同し体重コントロールや経口摂取の維持を図りました。

② 食生活の充実

- ・食事の環境を整え、行事食や季節感のある食事の提供をするなど飽きないような献立の工夫をしました。
- ・人員の見直し、調理時間の短縮・ソフト食の提供を試み、外注での食事の提供を1か月程行いました。今後継続するか検討しています。

③ 衛生管理

- ・常に清潔を意識し、食事前後の手洗いや手指消毒を入居者に励行し、食中毒予防に努めました。
- ・衛生管理にも努めるとともに職員の体調管理も徹底して行いました。
- ・保存食の管理、食品の温度管理、記録を確実にを行い衛生管理に努めることができました。

④ 非常食管理

- ・今後災害時、緊急時のマニュアルを作成し、非常時にはスムーズに食事提供できるよう努めていきたいと考えています。

7. 青森市福祉部指導監査課による指導監査の実施

青森市福祉部指導監査課において、令和2年度社会福祉施設（特別養護老人ホームささえの運営状況）に係る関係資料を提出する書面審査による指導監査がありました。この監査において、是正改善を要する事項はないとのことでしたが、更なる法人および施設サービスの運営に取り組んでいく所存です。

指導監査の実施結果については次ページのとおりです。

以上



青市指監第157号
令和3年3月30日

社会福祉法人 慈青会
理事長 石木 基夫 様

青森市長 小野寺 晃彦



令和2年度社会福祉施設に係る指導監査の実施結果について（通知）

貴法人が設置する「特別養護老人ホームささえ」の指導監査を実施したところ、文書指摘による是正改善を要する事項はありませんでした。

今後も適正な法人運営と施設経営を継続していただきますようお願いいたします。

担当 〒030-0831 青森市新町一丁目3番7号
青森市福祉部指導監査課
社会福祉法人チーム
TEL 017-734-2354 FAX 017-734-5127
E-mail shido-kansa@city.aomori.aomori.jp

事業報告の附属明細書

令和2年度 事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。

社会福祉法人 慈青会